

SG3600LG, SG3600LJ

セットアップ手順説明書

2014年9月 1版

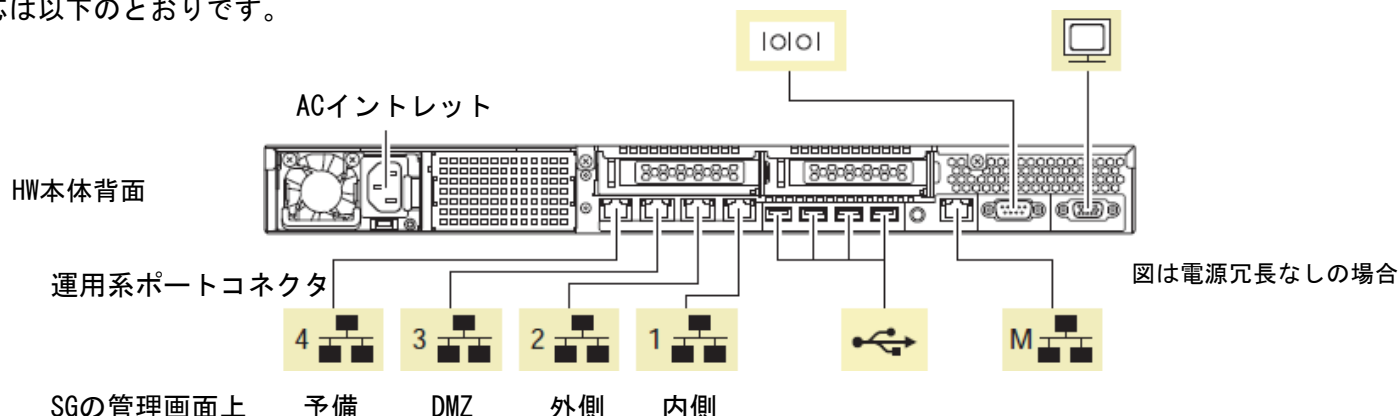
本書は、SGの初期設定手順について記載しています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
お使いの際は、以下の手順に従いSGの初期設定を行ってください。

1 電源をONにする前に

SGの初期設定はネットワークを介して行います。初期設定を行うためのネットワークインタフェースについて説明します。

1.1. SGのネットワークインタフェース

Express5800/R110d-1Mのネットワークインタフェースと、SGの管理画面上のネットワークインタフェースの対応は以下のとおりです。



1.2. クライアントPCの準備

初期設定は、別途用意いただくWeb接続可能なWindowsクライアントPC（以下、クライアントPC）からWebブラウザを介して行います。出荷時に設定されているSGのIPアドレスと同じネットワークのIPアドレスをクライアントPCに設定してください（例えば、192.168.250.1/255.255.255.0）。クライアントPCはSGの内側ネットワークインタフェースとLANケーブルで接続してください。

SGの出荷時設定は次のとおりです。

内側インタフェースのIPアドレス	: 192.168.250.251
内側インタフェースのネットワークマスク	: 255.255.255.0

[注意]ハブを介して接続する場合は、SGの上記IPアドレスと他機器のIPアドレスが重複しないようご注意ください。

ご使用になるWebブラウザは、Internet Explorer 7（日本語版・Windows版）を推奨します。Internet Explorerは、[ツール]→[インターネットオプション]で以下のように設定してください。

- ・ [セキュリティ]→[インターネット]を選択し[レベルのカスタマイズ]を押します
 - ・ [スクリプト]→[アクティブ スクリプト]→「有効にする」を選択します
 - ・ [その他]→[ページの自動読み込み]→「有効にする」を選択します
- ・ [詳細設定]→[セキュリティ]→「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外します
- ・ [プライバシー]→[設定]を「中」以下にします

また、Internet Explorer 8の場合は[ツール]→[互換表示設定]で2.3(3)または(4)で設定するSGへ接続するIPアドレスを追加してください。Internet Explorer 10 を使用する場合は「ブラウザモード：IE10 互換

表示」、「ドキュメントモード: IE5 Quirks(M)」と設定してください。

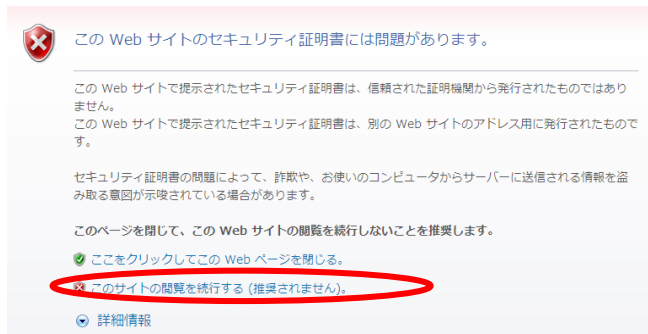
2 初期設定の実行

SGを起動し、クライアントPCのWebブラウザからSGへ接続し、ログインを行ってください。

2.1. 初期設定画面への接続

クライアントPCのWebブラウザで以下のURLを指定し、初期設定画面に接続してください。

https://192.168.250.251:18000/



セキュリティの警告が表示されますが、[このサイトの閲覧を続行する]を選択します。

接続できない場合、クライアントPC側から、ping コマンドなどを使用して通信状態を確認してください。

[実行例] C:\> ping 192. 168. 250. 251

SGと通信できない場合は、設定されているネットワークと接続できるよう、クライアントPCのネットワーク設定やLANケーブルの接続状態を確認してください。

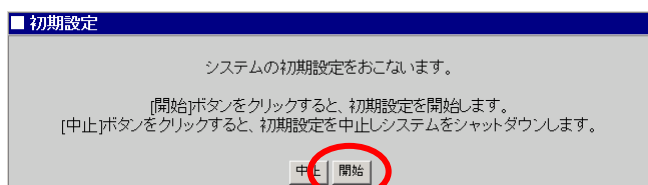
2.2. 初期設定画面へのログイン

初期設定画面に接続すると、ユーザ名とパスワードの入力ダイアログが表示されますのでユーザ名、パスワードを入力してログインします。ログインユーザ名は「root」です。パスワードは製品添付の「rootパスワード」を参照ください。

[注意] ユーザ名、パスワードは、大文字小文字を区別します。

2.3. 初期設定

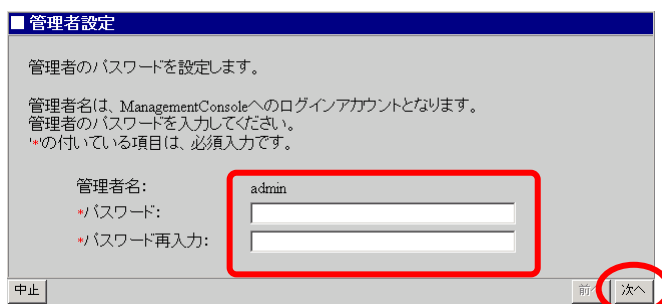
(1) 初期設定の開始



ログインが成功すると左の画面が表示されます。

[開始] をクリックし、初期設定を実施します。初期設定を中断したい場合は、各設定画面の [中止] をクリックします。

(2) 管理者設定



管理者のパスワードの設定を行います。

システム管理者のアカウントは“admin”（固定）です。

システム管理者用のパスワードを「パスワード」「パスワード再入力」に入力して [次へ] をクリックします。システム管理者名のパスワードの指定は必須です。

[注意] システム管理者のアカウントは、初期設定完了後、Management Console画面の[リモートメンテナンス]より変更できます。

(3) ネットワーク設定（その1）

お客様の内部ネットワークに合わせたネットワーク情報の設定を行います。
の設定内容を入力し、[次へ(N)] をクリックします。

[注意] 項目名の先頭に「*」があるものは必須入力です。

表

1 ネットワーク設定（その1）設定項目

項目名	設定内容
* ホスト名 (FQDN)	FQDNを設定します
* 内側IPアドレス	内部ネットワークのIPアドレスを設定します
* 内側ネットマスク	ネットワークマスクを設定します
* デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します
プライマリネームサーバ	プライマリネームサーバを設定します
セカンダリネームサーバ	セカンダリネームサーバを設定します

(4) ネットワーク設定（その2）

表 2の設定内容を入力し、「操作可能ホスト」は、運用上の設定です。
設定内容を入力し、[次へ] をクリックします。

[注意] 先頭に「*」があるものは必須入力です。

表 2 ネットワーク設定（その2）設定項目

項目名	設定内容
* 外側IPアドレス	外部ネットワークのIPアドレスを設定します
* 外側ネットマスク	ネットワークマスクを設定します
* 管理者メールアドレス	管理者メールアドレスを設定します
* 操作可能ホスト	運用時にManagement Consoleに接続するクライアントPCのIPアドレスを設定します。 初期設定完了後、Management Console画面の[リモートメンテナンス]より追加することも可能です。

(5) 初期設定内容確認

■ 初期設定内容確認

初期設定の内容を確認してください。

以下の設定でよろしければ、[次へ]ボタンをクリックしてください。設定をおこないます。
[中止]ボタンをクリックすると、初期設定を中止しシステムをシャットダウンします。

■ 管理者設定	
管理者名:	admin
パスワード:	*
■ ネットワーク設定(その1)	
ホスト名(FQDN):	SG3600LG.sg.com
内側IPアドレス:	192.168.1.126
内側ネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	192.168.1.1
プライマリネームサーバ:	未設定
セカンダリネームサーバ:	未設定
■ ネットワーク設定(その2)	
外側IPアドレス:	202.217.5.126
外側ネットマスク:	255.255.255.0
管理者メールアドレス:	root@localhost
操作可能ホスト:	192.168.1.3

中止 前 次へ

入力した設定内容を確認してください。
設定内容に間違いがなければ、[次へ] をクリックしてください。
間違いがある場合は、[前へ] をクリックして変更対象画面に戻り修正してください。

(6) システム再起動

■ システム再起動

初期設定を完了しました。
設定を有効にするために、システムを再起動してください。

システムを停止する システムを再起動する

設定を有効にしてシステムを運用可能な状態にするため、システムを再起動します。
[システムを再起動する] をクリックしてください。
[システムを停止する] をクリックした場合、システムは停止状態となります。

以上で、初期設定は終了です。

3 PowerChute BusinessEdition(PCBE)

PCBEをSGにインストールしてご使用になる場合は、「SG3600_PowerChute導入手順説明書」を参照してください。

PCBEはSGに含まれません。ご使用になる場合は、別途ご購入をお願いいたします。

4 その他の設定について

ファイアウォール機能などの設定については、SGのヘルプをご参照ください。SGのヘルプは、SGのバックアップDVD-ROMの中に格納されており、次のHTMLファイルから表示させることができます。

＜バックアップDVD-ROM＞:/manual.html

4.1 ftp複数ポートの設定方法

本節では、SGに登録するファイアウォールルールに指定するftp通信に於いて、ftpサーバの制御ポートがデフォルトの21ではないときの設定手順を説明しています。

例として、以下の制御ポートを設定するときの手順を示します。

ftpサーバの制御ポート番号
21
10021
20021

- (1) [ファイアウォール > 詳細設定 > ルール設定(サービス)]画面で、以下のユーザ定義サービスを追加してください。

名前) FTP

メンバ) tcp/21, tcp/10021, tcp/20021

- (2) システム再起動をすることにより設定が反映されます。

5 総合行政ネットワーク（LGWAN）への接続（SG3600LGのみ）

SGを総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続してお使いの場合、クライアントPCからSGのManagement Consoleに接続し、サービス画面から以下の変更を行ってください。

- (1) 「稼働監視機能」の「(再度)起動」の「起動」をクリックしてください。
- (2) 「OS起動時の状態」を「起動」に変更して、「設定」をクリックしてください。

6 注意事項

- (1) 同じネットワーク内で同時にインストールを行った場合、初期設定用IPアドレスの重複が発生することがあります。その場合には、intersec-init-cを実行して、IPアドレスが重複しないように設定を行ってください。

商標について

Windows、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商標名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2014

NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。